

その橋、画面の中で歩けます。



操作解説動画
2分49秒 / YouTube

お手持ちの図面PDFから、回して・測って・歩ける3Dモデルをお作りします。
現場に行く前に、桁下の空間も、部材の位置関係も、手に取るように分かります。



回す

ROTATE

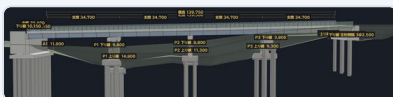
ぐるっと回して、**見たい角度から**。床版・主桁・橋脚・杭などを部材ごとに表示／非表示・半透明に。



測る

MEASURE

2点をクリックするだけで**距離・高低差**。部材をクリックすれば名称と標高が出ます。



歩く

WALK

路面も桁下も、**人の目線で歩いて見回**せます。足場や点検の動線がその場で決まります。



これまで

- × 図面を何枚もめくって頭の中で組み立てる
- × 桁下の高さや離れは、行ってみないと分からない
- × 図面に慣れない方には、なかなか伝わらない



3Dモデルがあれば

- ✓ ひと目で全体と部材の位置関係が分かる
- ✓ 現場に行く前に、画面で測って計画できる
- ✓ 打合せでは画面を見せるだけで話が通じる

#

番号図・写真を重ねる

床版下面にパネル番号を番号図どおりに。写真の貼り込みも可能。

仮

推定は「仮」と明示

図面で確かめられない所はオレンジで表示。作成と別工程で図面と照合します。



ソフト不要・ネット不要

HTMLファイル1つ。メールやUSBで渡して、誰でもすぐ開けます。

単径間の小橋から上下線・多径間の連続桁高架橋、トンネルまで作成実績あり。橋梁点検車を据えて作業床の届く範囲を確かめたり、桁の中をドローンで飛んで点検ルートを下見したりできます。操作解説動画つき。CAD・BIM/CIM用に STEP OBJ glb FreeCAD でもお渡しできます。

まずは図面1式から。

図面を拝見して、作れるかどうか・費用と期間をお答えします。

図面PDFを送る

3Dで確認

打合せ・計画に

